

# 令和7年3月 定例記者会見

日時：令和7年3月14日（金）

14：00～

会場：6階 大会議室

## 1 開会

## 2 あいさつ

## 3 小山市長からの発表および質疑応答

- (1) ゼロカーボンシティ実現に向けた施策について
- (2) 官民連携ローリングストックの実施について

## 4 小山市消防長からの発表および質疑応答

- (1) 救急体制強化のための日勤救急隊の導入について
- (2) 救急搬送支援アプリ「スクエル」本格運用開始について

## 5 市からのお知らせ

- ・「おやまっ子応援マルシェ in ままだ」の開催
- ・「思いつむぎノート」（第3版）の発行
- ・田園環境都市おやまビジョン完成記者会見（3月28日開催）

## 6 閉会



## 記者会見資料

### 1 件 名

ゼロカーボンシティ実現に向けた施策について

### 2 趣 旨

小山市では、SDGs 13番目の目標「気候変動に具体的な対策を」に位置付けられる地球規模の問題に対応するため、令和5年に改定した「第4次小山市環境基本計画」の中に「地球温暖化対策実行計画」の区域施策編を盛り込み、同年10月1日には、温室効果ガスの実質的な排出量をゼロとし、自然を回復軌道に乗せる「ゼロカーボンシティ&ネイチャーポジティブ宣言」を行い、宣言の実現に向けて掲げた具体的な取組に着手しています。

さらに、本年1月には、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロの実現に向かうため、「おやま脱炭素ロードマップ」を策定し、小山市の現況を明らかにし、10年単位でどのような取組を行っていくか、その道筋を示す施策・取組を定めました。

今後は、公共施設での取組を率先して実施し、市民や企業の行動変容をけん引するとともに、60を超える企業・団体による産官学民連携組織である「小山市ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進プラットフォーム」において、情報交換を行いながら、小山市の特性を活かした取組を生み出し、気候変動に「適応」するための市民の生活習慣を変える取組を進め、私たち、そして将来世代にとって環境にやさしいまちづくりを目指します。

### 3 内 容

#### (1) 今後進めていく取組とその概要

##### ① 公共施設への再生可能エネルギー導入

小山市水処理センターにおいて、令和6年4月から汚泥処理工程で発生する消化ガスを利用した発電を実施しており、生み出された再生可能エネルギーを小山市役所本庁舎に導入します（令和7年5月～）。今回の取組により、市役所本庁舎としては9割以上、小山市公共施設全体としては約5～6%の排出量削減が実現します。

今後は、小山広域保健衛生組合の焼却炉のごみ発電（70トン焼却炉）うち、施設内利用分を除いた余剰電力の利用について、小山広域保健衛生組合・構成市町と協議しながら、順次市内公共施設に導入していきます。

##### ○小山市の温室効果ガス排出量

令和5年度 14,785 t-CO<sub>2</sub>（うち、本庁舎は 約 800 t-CO<sub>2</sub>）

## ② 公共施設へのEV充電器設置

令和6年3月に小山市と合同会社DMM.comが協定を締結し、小山市内の公共施設にEV充電器を設置しました。今後も、市内公共施設での設置を進めて電気自動車の普及を促進し、運輸部門における温室効果ガス排出量削減を目指します。

○令和6年度整備済の公共施設

	施設名	設置台数	供用開始
1	市役所本庁舎	4台	1/21(火)
2	小山市大谷市民交流センター 「あいとぴあ」	4台	1/21(火)
3	小山市小山城南市民交流センター 「ゆめまち」	4台	1/24(金)
4	小山市間々田市民交流センター 「しらさぎ館」	4台	1/30(木)
5	小山総合公園	4台	3/14(金)

## ③ 脱炭素に資する廃食用油の回収・再利用

小山市では、平成19年度から市内公共施設等において廃食用油を回収してきました。近年、CO2排出量が格段に多い原油由来のジェット燃料を使用する航空機の新たな燃料として、廃食用油を主原料とする「SAF(サフ)」が注目されるようになり、廃食用油の価値も高まってきています。

このような背景のもと、小山市ではSAF精製技術を持つ㈱吉川油脂(佐野市)、ENEOS㈱と協定を締結し、市内において回収した廃食用油を脱炭素に資する再利用をする取組を推進していきます。

○協定締結日 3/14(金)

○小山市における廃食用油回収実績(令和5年度)

公共施設 17,885 kg

民間施設 5,230 kg

## ④ 小山市ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進プラットフォーム

令和6年3月に47の企業・団体によりキックオフしたプラットフォームは、5月、9月、12月と3回にわたり運営委員会を開催し、カーボンニュートラル・ネイチャーポジティブ・サーキュラーエコノミーそれぞれの分野ごとに意見交換を重ねてきました。また、本年2月に開催した全体会では脱炭素の専門家による講演、これまでの活動振り返りを行いました。

今後は、企業・団体同士のマッチング、新たな事業組創出など地域脱炭素はもとより、自然再興や循環経済といった地域課題解決の基盤を目指します。

○参加企業・団体 47（令和6年3月） → 63（令和7年3月）

○令和7年度の活動（案）

全体会（3回程度）

プロジェクト制による企業同士のマッチング、事業創出

参加企業・団体の事業所、フィールド視察

## （2）現在進めている取組とその概要

※「ゼロカーボンシティ&ネイチャーポジティブ宣言」の実現に向けて掲げた具体的な取組

### ①公共施設の照明のLEDへの切り替え

124施設中、LED切り替え済の施設 26施設 約21%

### ②住宅向け太陽光発電・蓄電池の設置や電気自動車の購入への補助制度

小山市住宅脱炭素化設備等導入補助金（令和5年度～）

	令和5年度	令和6年度
ZEH住宅	28	65
定置型蓄電池(新設太陽光+蓄電池)	59	99
定置型蓄電池(既設太陽光+蓄電池)	14	44
V2H 電気自動車等充電設備	3	1
EV車/PHV車/FCV車(普通自動車)	8	7
EV車(軽自動車)	7	1

※R6年度は、2月末時点の実績

### ③市内企業への脱炭素認証制度取得の支援やエアコン、業務用冷蔵・冷凍庫などの購入補助制度

- ・中小企業向け SBT 認証取得支援補助金（令和6年度～）  
13件、11,063千円
- ・中小企業等省エネルギー設備導入支援補助金（対象期間：令和6年1月～12月）  
エアコン、業務用冷蔵・冷凍庫、LED照明の購入費補助  
278件、64,093千円

担当：総合政策部 ゼロカーボン・ネイチャーポジティブ推進課

電話：0285-22-9277



## 記者会見資料

### 1 件 名

官民連携ローリングストックの実施について

### 2 趣 旨

令和6年9月18日にスギホールディングス㈱と締結した「災害時の生活必需品等の供給」に関する協定に基づき、新たな取組として、平時は市有施設の防災倉庫に商品を保管・入替えを行い、災害時にはその商品を備蓄品として小山市に優先供給する「官民連携ローリングストック」を実施します。

### 3 覚書の協力内容

- ・ スギホールディングス㈱の一般販売用の商品を市の防災倉庫に備蓄品として保管し、定期的（おおよそ1年ごと）に入替えを行う（入替え後の商品は、店舗にて販売）
- ・ 商品の搬入・入替え（運搬含む）等は、スギホールディングス㈱が行う
- ・ 災害時には、優先的に市に供給する
- ・ 市は、災害時に備蓄在庫の商品を使用した場合のみ、その実費分を支払う

### 4 保管予定品目等

- (1) 品 目：おむつ（子ども用・大人用）、おしりふき、生理用品、携帯トイレ、トイレットペーパー
- (2) 保 管 先：大谷市民交流センター北側（防災倉庫）
- (3) 搬入日時：3月27日（木）14：30～（予定）

### 5 その他

スギホールディングス㈱と本事業を実施している自治体は全国で8自治体あり、小山市は9例目となり、栃木県内初の取り組みとなります。

担当：総務部 危機管理課

電話：0285-22-9879



## 記者会見資料

### 1 件 名

救急体制強化のための日勤救急隊の導入について

### 2 趣 旨

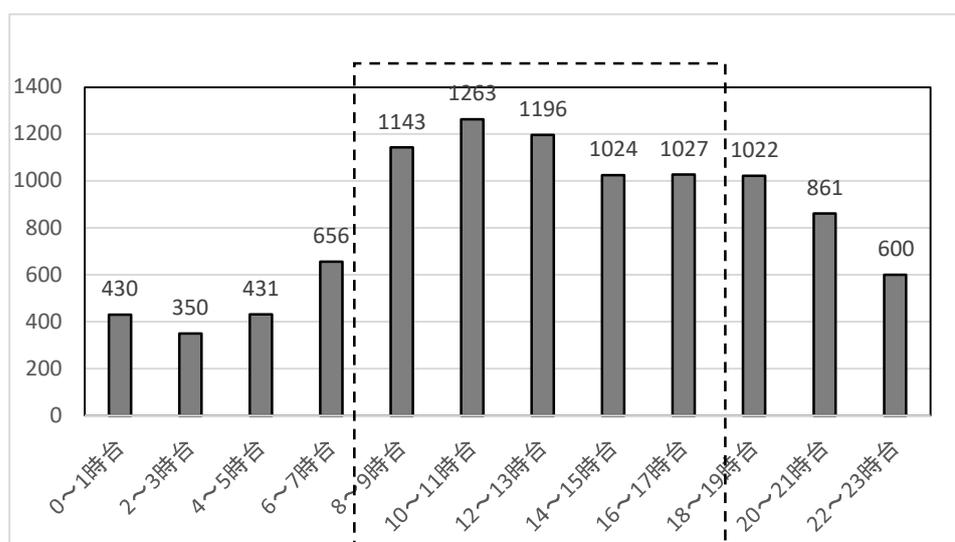
高齢化の進行等に伴い、増え続けることが予想される救急需要に対応するため、既存の救急隊（24時間勤務）8隊配置のほか、救急需要が集中する平日の日中に活動する「日勤救急隊」を本市で初めて運用開始します。救急出動件数の多い日中に日勤救急隊を増隊することで、救急体制が強化され、現場到着時間の短縮が見込まれるなど、より迅速かつ適切な救急活動につながり、住民サービスの向上が期待されます。

また、この制度の導入により、子育てや介護などを行っている職員や役職定年後の職員が、より活躍できる環境づくりの取り組みとなり、職員の多様な働き方を実現することにつながります。

### 3 日勤救急隊導入の概要

- (1) 運用開始日 4月1日（火）
- (2) 配置部署 小山市消防本部警防課
- (3) 配置時間 平日の8：30～17：15
- (4) 乗組編成 救急救命士を含む3名以上、警防課職員を中心に編成
- (5) その他 日勤救急隊の導入は宇都宮市に次ぐ県内2例目

### 4 参 考（令和6年中の救急出動状況）



担当：消防本部 警防課

電話：0285-39-6684



## 記者会見資料

### 1 件 名

救急搬送支援アプリ「スクエル」本格運用開始について

### 2 趣 旨

小山市消防本部管内における救急出動件数は増加傾向にあり、医療機関搬送時の救急患者の受入照会回数が増加していることから、救急隊の現場滞在時間および医療機関収容までの時間が年々延伸しております。

このような状況から、傷病者や救急隊員の負担軽減を図り円滑に救急搬送をするため、これまでの電話による受け入れ照会ではなく、デジタルツールにより照会情報を一元化し、同時に複数の医療機関照会も可能とする救急搬送を支援するアプリ「スクエル」を4月1日から運用開始するものです。

### 3 救急搬送支援アプリ「スクエル」の使用手順

- (1) 救急隊がスマートフォンにインストールされた救急搬送支援アプリ「スクエル」を操作し、救急患者情報（氏名や生年月日等の個人情報なし）を入力する
- (2) 救急患者にとって適切な医療機関を選択し、医療機関が患者を受け入れる際に必要な情報（現場写真や心電図、動画なども可）を送信する
- (3) 医療機関は情報をもとに受入可否を判断して回答する
- (4) 救急隊は回答を確認し搬送する

### 4 その他

- (1) 本格運用開始に向けた説明会の開催
  - ① 日 時 3月25日（火）14：00から1時間程度
  - ② 会 場 小山市消防本部3階会議室
  - ③ 対 象 救急搬送対応の15医療機関および近隣消防本部
  - ④ 内 容 救急搬送支援アプリ「スクエル」説明  
医療機関選定までの一連のデモおよび質疑応答
- (2) 救急搬送を支援するデジタルツール導入は、県内初
- (3) 同アプリについては、令和7年1月から、救急搬送医療機関9機関の間でトライアル運用しており、今後も順次拡大予定

担当：消防本部 消防署救急係

電話：0285-39-6666

※別紙資料あり



# 救急搬送支援アプリ・スクエル（SQ-L） 令和7（2025）年4月1日本格運用開始！

～救急隊と病院をデジタルで繋ぎ、傷病者や救急隊員の負担軽減を図ります～

## コミュニケーションツールを使用しての病院照会を新たにスタート

小山市消防本部では救急出動件数の増加及び医療機関受入照会回数の増加により、救急患者の医療機関収容までの時間が年々延伸しています。

そこで、救急搬送においてデジタルツール（コミュニケーションアプリ）を活用し、現場活動の円滑化による傷病者や救急隊員の負担軽減を図ります。

The image displays three screens of the SQ-L app. The first screen, '搬送者情報登録' (Patient Information Registration), shows fields for date (2024.11.22), time, case number, name (小山救急11), birthplace, summary, gender, age, and vital signs (SPO2, pulse, blood pressure, temperature). The second screen, '送信先選択' (Destination Selection), shows a search for medical institutions, with '石橋総合病院' and '小山整形外科内科病院' listed. The third screen, 'SQ-Lポット' (SQ-L Pot), shows a summary of the patient information and vital signs, with buttons for '受入可能' (Acceptable), '受入不可' (Not Acceptable), and '保留 (要電話確認)' (Hold (Phone Confirmation)).

### 救急搬送支援アプリ・スクエルについて

救急搬送支援アプリ・スクエルは、LINE WORKS を基本としており、救急現場でより使いやすくするために、小山市消防本部ではシステム開発業者（株式会社 麻生情報システム）に仕様条件を提示し、ビジネス版 LINE 「LINE WORKS (ラインワークス)」をベースとして、フォーム入力形式や送信先選択、送信された情報を自動処理する機能を組み込んだ独自開発アプリです。

2025年1月よりトライアルを開始し、現在（2025年3月14日現在）、9医療機関（小山地区5医療機関、栃木市1医療機関、茨城県3医療機関）と市消防本部救急隊8隊の間で運用しております。令和7（2025）年4月1日から本格運用を行います。

※救急搬送を支援するアプリ導入は県内初、ビジネス版 LINE 「LINE WORKS (ラインワークス)」を救急業務用にカスタマイズしたアプリは全国初となります。

## ★救急搬送の際の傷病者受け入れ照会について

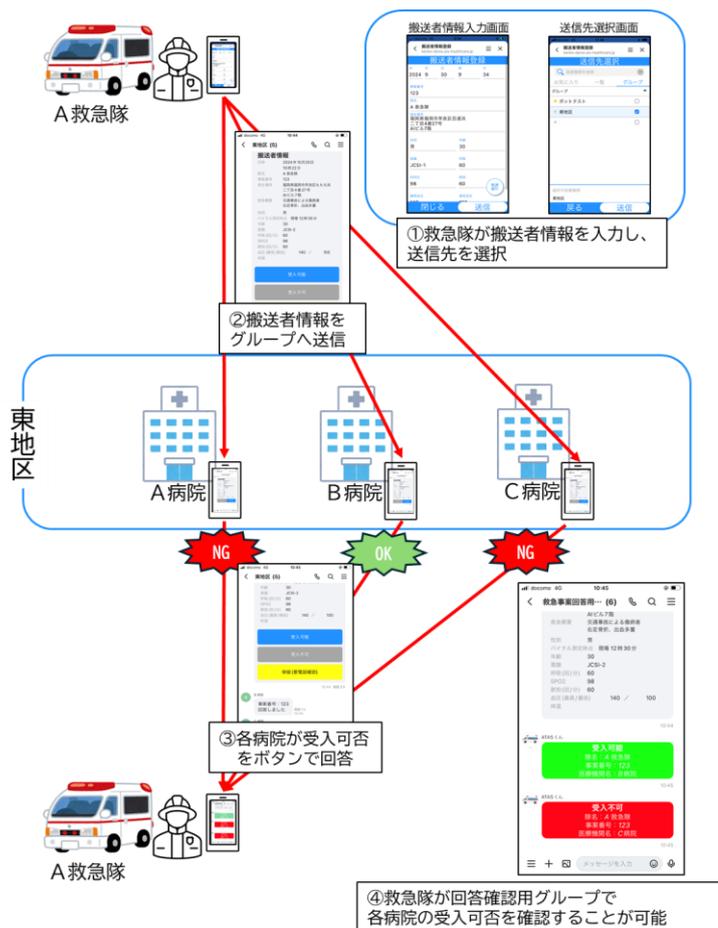
これまでは、救急隊員が電話で直接医療機関と通話により1件1件受け入れ照会を行ってきました。

救急搬送支援アプリ・スクエルでは、伝えたい情報を文字化することで情報が一元化され、「聞き間違い」が無く、患者情報もまとめられ一目で確認することが可能となるほか、同じ情報を繰り返しての送信や複数の医療機関に一斉送信することで病院照会に伴う時間短縮ができます。

※個人情報である氏名、住所、生年月日等の伝達は行いません。

## ★文字以外にも、心電図や画像データも共有できる

救急搬送支援アプリ・スクエルにより現場写真や心電図、動画などを送り情報共有ができます。(状況によっては、音声通話やビデオ通話も行います)



創傷部位・お薬手帳 など

参加医療機関 小山地区救急医療機関、近隣市（栃木市・結城市・古河市）医療機関 ※今後も順次拡大予定

新小山市民病院 (栃木県小山市)	自治医科大学附属病院 (栃木県下野市)	杉村病院 (栃木県小山市)
小金井中央病院 (栃木県下野市)	小山整形外科内科 (栃木県小山市)	とちぎメディカルセンターしもつが (栃木県栃木市)
城西病院 (茨城県結城市)	つるみ脳神経病院 (茨城県古河市)	古河総合病院 (茨城県古河市)

救急隊 小山市消防本部 8隊

## 救急搬送支援アプリ・スクエルに関するお問い合わせについて

小山市消防本部 救急 DX 環境構築プロジェクト事務局 (小山市消防署救急係)

TEL:0285-39-6666 FAX:0285-31-0183 E-MAIL: ds2-syoubousyo@city.oyama.tochigi.jp

# おやまっ子応援マルシェ in ままだ



小山市とこども・子育て支援の市民団体が協働で、地域で協力し子育てを支え合うことや交流を目的に、おやまっ子応援マルシェを開催します

## 3月29日(土)

### 10:30～13:30

入場無料

### しらさぎ館 ※雨天決行

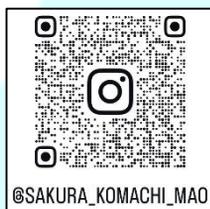
ほしいもの、きっと見つかる♪



間々田中、乙女中の学生服の譲渡・販売



手作りこども用品の販売



@SAKURA\_KOMACHI\_MAO



こども服の譲渡・交換  
ハギレでゴッドアイを作ってみよう

おいしく食べよう!



こども食堂  
お弁当配布



みんなであそんで  
おしゃべりしよう



おやこの遊び場



「オレンジリボン運動」とは

平成16年に小山市で起きた児童虐待事件をきっかけに発足した、子どもの虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。

小山を、子どもたち、ママパパたちが健やかに暮らせるまちにするために将来できることを考えてみましょう



@GURURI\_OYAMA



主催：小山市  
共催：制服バンクおやま ぐるり小山 いちごfam  
こども食堂笑光 桜小町MAO カンガルーOYAMA  
問合せ先：子育て家庭支援課 TEL0285-22-9857  
Email [d-kosodate@city.oyama.tochigi.jp](mailto:d-kosodate@city.oyama.tochigi.jp)  
市HP <https://www.city.oyama.tochigi.jp/kosodate-kyouiku/mokuteki/gyakutai/page008500.html>



会場MAP



駐車場に限りがあります。公共交通機関をご利用ください。



## 「思いつむぎノート」(第3版)の発行

小山市では、令和元年度より、医療や介護、葬儀のあり方、親族の連絡先などを記録できる小山市版エンディングノート「思いつむぎノート」を作成し、市民に配布しています。

この度、病気や事故、急変などで自分の意思を伝えられなくなった場合に役立てていただけるよう、自分が望む医療やケアについて整理し、信頼できる周囲の方と話し合う際に活用できる「人生会議」に関するページを加えた第3版が完成しました。この第3版の作成にあたりましては、官民協働事業として実施しており、市は広告募集の協力および掲載内容に関する情報提供を民間事業者に行い、民間事業者が広告の募集から印刷・製本まで実施・作成するもので、市の予算をかけずに発行したものです。

### 【配布場所】

高齢生きがい課、福祉総務課、出張所（11か所）  
高齢者サポートセンター（6か所）、社会福祉協議会

担当：保健福祉部 高齢生きがい課

電話：0285-22-9853

※別冊資料あり